

学習目標(骨塩定量(レベル3))

No.	大項目(講義名/GIO)	中項目	小項目	行動目標(SBO)
1	骨量測定の意義 一般学習目標(GIO)	骨塩定量検査の意義:骨粗鬆症	骨粗鬆症の疫学	骨粗鬆症の疫学について理解している。
			骨粗鬆症の定義と診断基準	骨粗鬆症の定義、診断基準について理解している。
			骨粗鬆症の治療開始基準	骨粗鬆症の治療開始基準について理解している。
			骨粗鬆症治療の効果判定	骨代謝マーカと治療効果判定について理解している。
2	DXAの測定 一般学習目標(GIO) 装置の構造と原理に関する知識、日常点検精度管理に関わる管理方法に関する	DXA装置の測定	スキャン方法、ポジショニング	スキャン方法、ポジショニングについて理解している。
			Daily Quality Control(QC)	BMDのDaily QC
			BMDの測定精度	BMDの測定精度について理解している。
3	DXAの解析 一般学習目標(GIO) 解析方法について複数の解析方法を理解し、適切な解析を選択できる。	DXAの解析	Hip Structure Analysis(HSA)	HASについて理解している。
			骨折リスク評価(FRAX)ツール	FRAXについて理解している。
			海綿骨構造指標(TBS)	TBSについて理解している。
	DXA法の実際 一般学習目標(GIO) DXA法の測定について自ら実践および後輩に説明できるように理解する。	部位別測定法	前腕	検査の手順・方法について理解している。
			whole Body Scan	検査の手順・方法について理解している。
		筋量減少に伴う関連疾患	サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイル	筋量減少に伴う関連疾患の概念を理解する。
	データの取得とデータベースの作成、集計	ROI解析の結果を集計して、データベースを作成する。	統計解析に使用できるデータベースが作成できる。	